



内閣府の役割・業務内容

内閣府は、内閣及び内閣総理大臣の主導による国政運営を実現するため、内閣総理大臣の補佐・支援体制の強化を目指して平成13年（2001年）に設置された内閣総理大臣を長とする内閣の機関です。

行政事務を分担管理している各省より一段高い立場から、国政上の重要な政策について企画立案・総合調整等を行っています。

内閣府に求められる役割は、日本の未来を切り拓くためのグランドデザインを描くという、壮大なものであり、国民の目線に立って身近な課題に取り組む、国民ひとりひとりと密接なものです。

内閣府の特徴

特命担当大臣

内閣府には、重要政策に関する企画立案・総合調整を迅速かつ強力に行うため、特命担当大臣が置かれています。

重要政策会議

内閣総理大臣がリーダーシップを発揮するためには、政策選択に資する情報の収集や政策効果の分析など、英知の結集がボトムアップとして重要となります。

内閣府には、そのような英知を結集する「知恵の場」としての役割があり、経済財政諮問会議、総合科学技術・イノベーション会議、国家戦略特別区域諮問会議、中央防災会議、男女共同参画会議など各分野の専門家や関係閣僚などで構成される重要政策会議などが設置されています。

先輩職員からのメッセージ

幅広い業務を所掌する内閣府では、多様なバックグラウンドを持った人材が集まり、部局によって全く異なる貴重な経験をする機会があります。様々なことに興味を持ち、新たに挑戦することが好きな方は、ぜひ一緒に内閣府で働きましょう！

（平成29年度採用者（一般職））

問い合わせ先

内閣府一般職採用担当窓口 大臣官房人事課任用係
〒100-8914 千代田区永田町1-6-1
TEL 03-5253-1111（内線31343）

最新情報は、内閣府HPからチェックしてみてください！

